

# よど 余土地区

面積：5.12km<sup>2</sup>  
人口：23,767人（高齢化率 24.2%）  
世帯数：10,414世帯

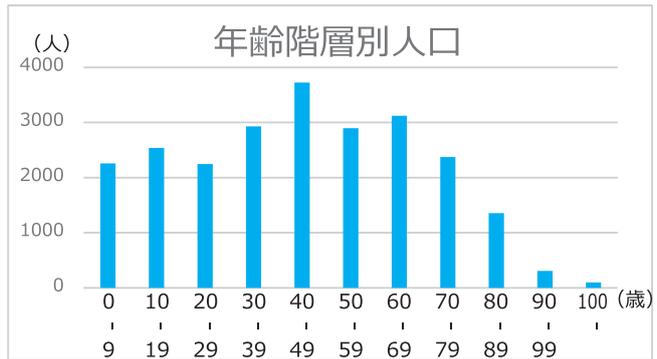


## 【地区の特色】

余土地区は、余戸・保免・市坪の3つの町からなり、石手川と重信川が合流する地域に位置している。昔から農業の大変盛んな農村地であったが、近年は国道56号線を中心に住宅や店舗が建ち、他の地域からの転居者も増え、人口は松山市の上位にランクされるようになった。また、松山中央公園には「坊っちゃんスタジアム」や「県武道館」など大型公共施設が集中しており、今後の町の活性化がますます期待されている。



松山中央公園と眼下に流れる石手川



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が小さい（地理的）</li> <li>・交通の利便性が高い（電車、バス、空港、高速道路近く）</li> <li>・地区社協拠点がある</li> <li>・高齢者、障がい者の施設が充実</li> <li>・移動スーパーが来る</li> <li>・まちづくり協議会が充実（人づくり）</li> <li>・街灯が多く夜明るい</li> <li>・公民館のスポーツ大会の充実（ソフトボール、グラウンドゴルフ、ペタンクなど）</li> <li>・中央公園ができてスポーツ関係が充実し、町が明るくなってきた</li> <li>・中央公園地域の散歩、ジョギングの利用増大</li> <li>・地区の見守りがあり、繋がりが強い</li> <li>・地域活動に中心になる人が多い</li> <li>・新しい宅地に若い人が多い</li> <li>・ゴミ出しのルールがよい（地区で話し合いができています）</li> <li>・犬の散歩のルールがよい</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション、コーポの増加で人間関係が希薄になっている</li> <li>・道路建設により地域が分断されている（余戸南）</li> <li>・空き家が多い</li> <li>・役員の担い手が少ない</li> <li>・各団体は利用者が限定される</li> <li>・転勤族が多い</li> <li>・水害時の心配（避難場所が少ないうえに遠い、道が狭い）</li> <li>・市営団地やマンション等の個人情報分からない</li> <li>・屋外で運動する場所が少ない</li> <li>・歩道が整備されていないので車いすが押しにくい（高齢者が不便）</li> <li>・買い物に不便な地域がある</li> <li>・地区内の愛護班の繋がりが薄くなった</li> <li>・人口は増えているが新しい住民との交流が少ない</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団地、分譲住宅が高齢化により活動が難しい</li> <li>・子ども会活動の停滞</li> <li>・住宅化が進み近所付き合いが希薄になっている</li> <li>・高齢者世帯が増加し空き家も増加</li> <li>・近所のコミュニケーションがとりにくい</li> <li>・歩道の整備</li> <li>・郵便ポストが少ない</li> <li>・分譲住宅は同年代が多く一気に高齢化する恐れがある</li> <li>・災害時の高齢者の避難（防災士との連携）</li> </ul>

## 余土地区社会福祉協議会

助け合い 笑顔が輪になる 余土のまち

<拠点> 松山市余戸東4-4-34 (余土公民館内)

構成団体	地区民協・議員・公民館・中学校・小学校・消防分団・交通安全協会 交番・農協・町内会長・高齢クラブ・保育園・母子福祉会・地域包括支援センター	
主な取り組み	活動内容	
災害マップの作成	平成23年度から独居・寝たきり・障がい者の支援を目的に地区民協と連携して作成し各町単位で更新しながら活用しています。	
福祉学習の推進	公民館と共催し、地域にある公民館・分館にてテーマ性に富んだ福祉学習事業を行っています。	
福祉用具の貸し出し	短期の旅行や病院受診などの際に介助が必要な方を対象に、車いすの貸し出しを行っています。	

### 拠点を活かした取り組み

余土公民館、まちづくり協議会、地区社協が入る拠点の機能を活かして、様々な連携・協働事業を行っています。

平成30年度には松山市が定めた「まつやま子どもの日」にちなみ、マジックショーや子ども服の交換会など親子が楽しめる参加型イベントを開催しました。



### <地区社協が目指すもの>

余土地区社協では平成29年にかねてから念願であった活動拠点を余土公民館の中に設けることができました。また隣接には子育て関連の施設も入り分野を超えた連携が期待されています。

今後、地域内の問題がますます複雑になっていくこととは思いますが、関係する様々な団体が互いに連携し、それぞれの特徴を活かした地域福祉活動を展開することが重要であると考えます。拠点を活かした取り組みを重ねながら、少しでも地域の活性化に貢献したいと考えております。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	34名 2名	■町内会・自治会・区長会等	46団体
	■まち協の設立	平成21年度	■高齢クラブ	10クラブ
			■子ども会	14団体
			■自主防災組織	8組織

余土地区の活動の魅力は、「多団体との連携・協働」です。公民館内に地区社協の活動拠点を設けることができたことにより、地域の関係団体との連携がさらに強化され、活動の幅が広がっています。特に子育てサロンについては、こども服の交換会など新たな取り組みや高齢者施設などとの交流を取り入れ、世代や分野を超えた交流の中で子育ての支援を行っています。「連携・協働」により、情報発信力も高まっています。また、地理的に災害が少ないながらも、災害マップの作成を含め入念に防災対策をし「助け合い」ができるように備えています。福祉的ニーズを持つ住民はもちろん、広く住民が恩恵を受けられる試みがされている地区だといえるでしょう。

ココがポイント



# はぶ 垣生地区

面積：4.24km<sup>2</sup>  
人口：12,030人（高齢化率 22.7%）  
世帯数：4,977世帯



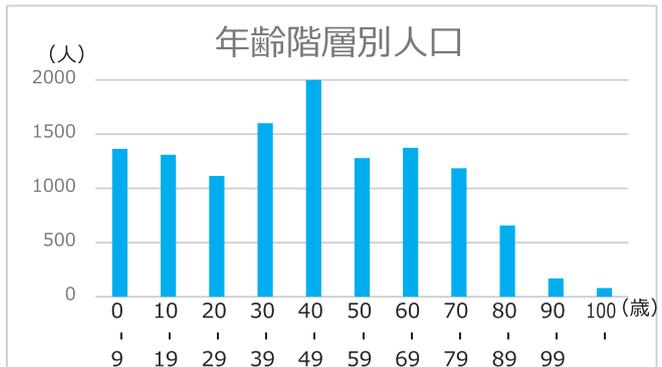
## 【地区の特色】

松山市の西南端に位置する垣生地区は、南に重信川河口、美しい夕日の落ちる風光明媚な所、年間を通して3,000羽の渡り鳥が羽根を休める。半農半漁のこの町も時代の流れと共に企業や会社人口も増しているが、新旧住民の意志疎通は図られている。

また、地区住民の幸せを願って西国33霊場のお地藏様が町の角々に建てられているのもこの地域ならではの特色であり、伊予絃の発案者で有名な鍵谷カナの生誕の地でもある。



重信川河口から見る夕日



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災関連の活動が活発（防災士、自主防災会、女性防火クラブなど）</li> <li>・俳句の里としての歴史が残っている ・サロン活動が活発 ・子どもの見守り</li> <li>・夏祭り盆踊り大会 ・医療機関が多い ・生活関連施設に恵まれ生活しやすい</li> <li>・公園、グラウンドが多い ・保育園、幼稚園、小中学校が地域に溶け込んでいる</li> <li>・町内会行事の参加者が多い ・ループバス便が15分～20分毎にある</li> <li>・自然が残っている ・公共機関が地区の中央にある ・歴史が豊か</li> <li>・人口が増加している ・児童が増えている ・道路が広い（東垣生）</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合住宅が多いので連絡が取りにくくなった</li> <li>・ごみステーションの問題（ルールを守らない人がいる）</li> <li>・人口の増加により、新旧住民との関係がうまくいかない</li> <li>・交通の便が悪い（高齢者は特に不便） ・ボール遊びする公園が少ない</li> <li>・地域住民が集まれる複合型コミュニティ施設がない ・古い住民と新しい住民が疎遠</li> <li>・公民館が古くなっている（駐車場がない、エレベーターがない、トイレ等の設備が古い）</li> <li>・高齢者が買い物できる場が少ない ・西垣生は生活道路が狭く空き家が多い</li> <li>・若者が町内会に加入しない ・中心部の道路が狭い ・ループバスに南北コースが必要</li> <li>・団体数が多く連携が難しい ・地域色が強すぎる</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報が入ってこない ・避難行動要支援者は個人からの申請がないので把握できない</li> <li>・老々介護の方が増えている ・道が狭く救急車が入りづらい（西垣生町内）</li> <li>・ループバスが南北にも必要</li> <li>・高齢者と若者で地域への関わり方の意識に差がある</li> <li>・独居の認知症高齢者を地域で支える方法</li> <li>・空港整備で町のつながりが変化してきた ・住所標記ができていない</li> <li>・地域の繋がりが希薄 ・災害時の高齢者のための避難施設の整備が必要</li> </ul>

## 垣生地区社会福祉協議会

構成団体	共同募金会・地区民協・公民館・分館・PTA・更生保護女性会・町内会連盟 女性防火クラブ・高齢クラブ連合会・協議会・防犯協会・レディースネットワーク	
主な取り組み	活動内容	
特別支援学級児童との交流行事	小学校の特別支援学級に通う児童との交流行事を開催し、りんご狩りなどの学外活動を中心に社会体験の提供に努めています。	
高齢者・児童の見守り	小・中学校と連携し夏休み・冬休みにあわせ、夜間パトロールを行っています。	
福祉講座の開催	福祉への理解を深めてもらうための研修会を開催しています。	

### かぎやさい 鍵谷祭

伊予かすりを考案した鍵谷カナの命日である5月28日にあわせ垣生地区で行われている「鍵谷祭」において、公民館と連携してもちつきや販売、サロン作品の展示などを行っています。伝統文化を次世代に伝えるため、地区社協として支援しています。



### <地区社協が目指すもの>

垣生地区は、伊予絋の考案者である鍵谷カナ生誕の地であり、また村上霽月<sup>せいげつ</sup>や石田波郷<sup>はきょう</sup>、霽月の友人の正岡子規が今出を散策した際の句碑が数多くある伝統と歴史溢れる地区であるとともに、現在は外環状線の整備が進み、それに伴って人口もやや増加傾向にあります。そういった状況を踏まえ、今後は地域がより一体となった活動が展開される必要があると考え、現在、まちづくり協議会が中心となって検討している地区内の複合型コミュニティ施設の整備についても、地区社協として協力しております。今後も地域の関係団体と連携し地域の実情に応じた福祉活動を展開します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	15名 2名	■町内会・自治会・区長会等	51団体
	■まち協の設立	平成26年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	0クラブ 16団体 34組織

人口が増加傾向にあり、Uターンで親や親戚等の元に戻ってくる若い世代が多く、地域になじみやすい環境であることから地域行事への参加も多く、協力的な人が多いです。新旧住民の歩み寄りも地区の弱みとして挙げられていますが、本地区は互いが幸せに暮らせるように、心を砕いている地区です。また、地区社協と地区民協、小中学校と連携した活動を継続的に行っています。垣生地区は、長い歴史と文化のある地区です。今後も、地区社協の構成団体の強みを持ち寄った活動と、地域にある各種団体との協働を深めることで、「みんなでつくろう！！笑顔でつなぐ垣生のまち」へと歴史を紡いでいくことが期待できます。

ココが  
ポイント



しょうせき

# 生石地区

面積：7.48km<sup>2</sup>

人口：19,294人（高齢化率 25.5%）

世帯数：8,521世帯



## 【地区の特色】

生石地区は、松山市の西部、瀬戸内海に面した位置にあり、自然と緑豊かな垣生山を中心に、伊予節で有名な吉田挿桃（さしもも）をはじめ、生石八幡神社・金刀比羅神社等、数多くの史跡が残っている。かつては、大根・ラッキョ・さつまいも等の野菜栽培が主な産業の田舎であった。戦後は、(株)帝人をはじめ次々と企業が進出し、旧軍滑走路は松山空港となり、周辺の整備事業も進み、国際化へ向って愛媛の空の玄関として大きく変わってきている。



愛媛の空の玄関、松山空港



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会と連携して、福祉マップ作り ・防災訓練に熱心</li> <li>・陸海空の交通が至便 空港があり県外へのアクセスが良好</li> <li>・買い物などスーパーが多く便利 ・避難所が多い</li> <li>・公園で子どもたちがよく遊んでいる ・住民によって垣生山の整備活動が行われている</li> <li>・公民館活動が盛んでコミュニケーションが取れている</li> <li>・子どもたちがよく挨拶する 児童数市内No.1 ・企業OBが協力的</li> <li>・自然に恵まれている ・山側を歩くと空気がキレイ</li> <li>・保育園と地域住民の交流がある ・子ども見守り隊の見守り員が多い</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポなど自治会にも入らない人達とのコミュニケーションが取りにくい</li> <li>・若い人の地域行事参加が少ない ・山火事が心配</li> <li>・空港までの交通が不便（バス、電車がほしい）</li> <li>・脇道の車の量が多い ・地域によるゴミ出しの分別が守られていない</li> <li>・デコボコ道が多くシルバーカーが押しにくい</li> <li>・信号の時間が短いところがある ・公園の利用マナーが悪い</li> <li>・通学路に水溜りが多い ・待機児童が多い ・病時保育のできる病院がない</li> <li>・時間によって交通混雑、渋滞がある ・土石流の心配がある</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法により、個人情報が出ないので把握できない事が多い</li> <li>・独居世帯が増加（食事などの日常生活への支援が必要）</li> <li>・高齢者が話し相手をほしがっている ・高齢者のゴミ出し</li> <li>・独居世帯の食事の偏り ・賃貸マンションの住民との交流</li> <li>・スーパーが多くなり、小売店が少なくなる（高齢者の買い物が不便）</li> <li>・役員の担い手 ・行事を行うにも他人事</li> <li>・共働き世帯の育児支援体制</li> <li>・住民同士の関わりが希薄になる ・共同募金への協力</li> </ul>

## 生石地区社会福祉協議会

つないだ手 温もり伝わる 生石の輪

構成団体	地区民協・町内会長・区長・自治会長	
主な取り組み	活動内容	
地域住民の生活支援 (地域福祉サービス事業)	ゴミ出し等、高齢者の生活を地域住民の手で支えようと、協力会員、民生委員・児童委員、みまもり員が簡易な生活援助を行っています。	
生石小学校における 福祉学習	福祉学習の一環として、障がいのある人や高齢者の生活への理解促進を目的に車いすや点字、高齢者疑似体験の活動を支援しています。	
高齢者福祉講座	まちづくり協議会と連携し、主に高齢者を対象とした福祉講座を開催しています。高齢者が身近に感じる事をテーマに取り上げています。	

## お一人住いの皆様と共に

独居高齢者を対象に、交流と慰労を目的とした催しを行っています。保育園児による劇や中学生によるコーラスなど、様々な関係機関と連携して絆と思いやりの種まきを行っています。

平成元年から続く活動で平成30年に30回を迎えました。



## &lt;地区社協が目指すもの&gt;

地域社会の変化と多様化、例えば新旧住民の関係、地域への愛着度、少子高齢化、防災など課題山積のなか、これまでの行事・活動を漫然と続けては活性化は望めません。まずは地区まちづくり協議会、その構成組織・団体との連携強化と交流に努めます。すでに高齢者健康福祉講座、認知症サポーター養成講座、防災訓練、災害時要援護者対策で実績を積み、意見交換を始めている分野もあるため、この流れを地道に継続し、拡大・普遍化する先に「助け合う社会」「安全安心の暮らし」「地域文化の継承」などの展望が開けてくると考えています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	25名 2名	■町内会・自治会・区長会等	9団体
	■まち協の設立	平成26年度	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	8クラブ 7団体 16組織

生石地区の活動の魅力は、ひとつには福祉学習など子どもにアプローチする地道な「絆と思いやりの種まき」があります。成長には時間がかかるため、地区の弱みに行事参加率の低さが挙げられていますが、美しい自然と史跡が残りインスタ映える本地区は、若い人の興味を引き、行事参加へとつながられる可能性があります。魅力の2つ目は「持続可能性への視点」です。地域福祉サービス事業において、地区社協と地区民協が一体となって、利用者のニーズに合った新たな協力会員を広く地区の住民の中から発掘し、ゴミ出しなどの生活援助が支援者にも負担のないような、体制づくりを積極的に行っています。「種」の成長が楽しみな地区です。

ココがポイント



# 味生地区

面積：7.23 km<sup>2</sup>  
人口：27,509人（高齢化率 24.2%）  
世帯数：12,284世帯

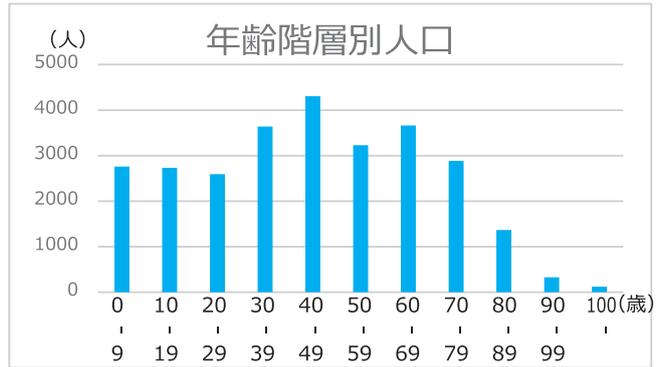


## 【地区の特色】

味生地区は、松山市の南西部に位置し、南斎院・空港通・北斎院・別府・清住・大可賀・山西の各町から成る静かな住宅地域である。松山市の空の玄関口である「松山空港」に隣接するとともに、貿易促進地区（FAZ 愛媛）の指定に伴い、西部の海岸地帯は近代化学工業が立地する臨海工業地帯である。また、古くから神社・寺院も多く、味生地区の史跡（古照遺跡）を展示する考古館や小・中・高校を地区内に有する文化と教育の地域である。



南斎院町の長屋門



## 【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会がある</li> <li>・自主防災が各地区で整備されている</li> <li>・人が穏やか ・面倒見が良い人が多い</li> <li>・生活がしやすい ・病院が多い</li> <li>・バスの便が良い（南斎院） ・電車（山西）が通っている</li> <li>・文化財が多い ・子ども見守り隊の活動が活発</li> <li>・社会福祉法人（施設等）との交流が盛ん ・若い人たちの居住が増えた</li> </ul>
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉活動のPR 不足 ・福祉学習へ新たな参加者を増やすための呼びかけ方法</li> <li>・坂道が危険（軽井沢団地、津田団地） ・ふれあいセンター前の道がせまい</li> <li>・真情橋（まごころばし）の道路に歩道が必要</li> <li>・山西地区は大雨台風時に浸水の恐れあり</li> <li>・自由に使用できる集会所が少ない ・マナーが悪い（ゴミ、犬のフン）</li> <li>・川が危ないところがある ・休耕地、耕作放棄地がある</li> <li>・空き家問題がある ・共同募金を集めるのが難しい</li> </ul>
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多くなり地域の役員の担い手がなくなる（仕掛け人が不足）</li> <li>・高齢者の増加による支援（ゴミ出しなどの生活関連）</li> <li>・障がい者の把握がよくできていない</li> <li>・独居高齢者の居場所→安心して本音を話せる場所が必要</li> <li>・休耕地や耕作放棄地、空き家問題</li> <li>・近隣付き合いの希薄化 ・高齢者と若い世代とのコミュニケーションが少ない</li> <li>・公共の行事（市民大清掃など）の参加者が少ない</li> <li>・ゴミ出しのマナーが徹底されていない ・高齢者に対する理解不足</li> </ul>

## 味生地区社会福祉協議会

まごころ  
真情で 福祉を支える 味生の里

<b>構成団体</b>	地区民協・広報委員・町内会長連絡協議会・公民館・自主防災連合会・支所・PTA 食生活推進協議会・高齢クラブ連合会・小学校・中学校・保健推進協力会・保育園 地域包括支援センター・少年警察ボランティア協会・更生保護婦人会	
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>	
津田中学校1年生と サロンの交流会	津田中学校の生徒と地域のサロンの利用者による交流会を開催しています。レクリエーションなどは中学生が考えたものを取り入れ、地域と学校をつなぐ取り組みとして行っています。	
小学生から高齢者への メッセージカード	一人暮らしの高齢者を対象に、小学生がつくったメッセージカードを持って民生委員・児童委員が訪問しています。	
ふれあい料理教室	地域内の料理講師を迎え、定期的な料理教室を開催しています。	

### 味生福祉のつどい

地域のサロンや学校、障がい者施設、包括支援センターなど様々な関係機関や団体が協働し、福祉啓発を目的としたお祭りを開催しています。サロンによる発表会や販売、健康相談などを実施しており毎回700名近い方が来場されます。



### <地区社協が目指すもの>

「みんなは地域のために、地域はみんなのために」を合言葉に、地域の皆さんが明るく楽しく元氣よく生活できるよう支援活動の輪を広げ地域福祉の向上をめざします。

1、まちづくり協議会など関係組織との連携を強化し、多くの課題をより効果的に解決するよう取り組みます。2、地域のニーズを的確に把握し事業内容や予算に反映させます。3、高齢者や障がい者の方々の日常生活での困りごとのお手伝いを支援する地域福祉サービス事業の充実・強化に取り組みます。

<b>地区の状況</b>	■地区民協 民生委員 主任児童委員	38名 2名	■町内会・自治会・区長会等	33団体
	■まち協の設立	平成30年度	■高齢クラブ	5クラブ
			■子ども会	29団体
			■自主防災組織	37組織

子ども会の数が40地区の中でNo.1である味生地区。地区社協や関係団体の取り組みは子どもに焦点をあてたもの、もしくは子どもと協働しながらの活動も多いことから、新旧の子育て世代の住民が地域に馴染みやすいことが特徴と言えるでしょう。味生地区社協は、バラエティーに富んだ構成団体を有しています。<地区社協が目指すもの>からも、地域住民の生活課題の解決に向けた地区社協の意欲が感じられます。地区内関係団体との連携や地域住民の福祉活動への理解拡大のための啓発活動、年齢に関係なく新たな活動者の発掘を図りながら、地域福祉サービス事業を柱とした今後のさらなる活動の強化が期待されます。

ココが  
ポイント

